



## 緊急地震速報 利用の心得

知らせたとおりですが、今回は緊急地震速報を有効に活用し、身の安全を守るための心得を説明します。

### 緊急地震速報を見聞きしたときは

緊急地震速報は、テレビやラジオなどで情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が、数秒から数10秒しかありません。その短い時間で身を守るための行動を取る必要があります。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

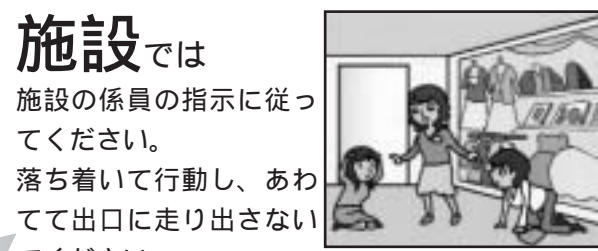
### 緊急地震速報 発表!!

(ある家庭の居間で)  
(テレビのテロップ)「(ピンポン)緊急地震速報。静岡県東部で地震が発生。強い揺れの地域 静岡県、山梨県」  
(わたし)「えっ...」  
(おとうさん)「これから揺れるから、上からものが落ちてきても大丈夫のように机の下に隠れて」  
まもなく ガタガタ(震度4程度の揺れ)  
(わたし)「今の地震の揺れは大きかったね。でも、被害はなさそうだね。よかった」

10月1日から、このような会話ができるようになりました。これを可能にしたのが、気象庁を中心に本運用を開始した『緊急地震速報』という新しい地震情報です。緊急地震速報の概要は、広報7月1日号でお知らせしたとおりですが、今回は緊急地震速報を有効に活用し、身の安全を守るための心得を説明します。

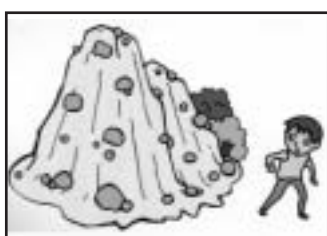


**家庭**では  
頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れてください。あわてて外に飛び出さないでください。



**施設**では  
施設の係員の指示に従ってください。落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さないでください。

**山**や**がけ**では  
落石やがけ崩れに注意してください。



**エレベーター**では  
最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。



**街中**では  
ブロック塀の倒壊等に注意してください。看板や割れたガラスの落下に注意して、建物から離れてください。



**電車**や**バス**では  
つり革や手すりにしっかりつかまってください。

**車**の**運転中**は

あわててブレーキをかけないでください。ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止してください。



(記事中イラストは気象庁パンフレットより転用)

詳しくは、気象庁ホームページ  
アドレス<http://www.jma.go.jp/>  
をご覧ください。

### 特集 『映像』という戦略

そのためには、皆さんの力が必要です。ケータリングサービスへの登録、ロケセットワークへの登録、エキストラとしての参加、そして、ロケへの理解。あなたにもできることが、必ずあります。いつの日か伊豆の国市が、『映像産業のメッカ』と呼ばれるために。

伊豆の国市はチャンスを迎えています。香港や韓国の映画文化に見るように、映像産業は、世界に向けて発信する可能性を秘めています。今こそ、美しい富士山が見守るこの地を、世界中にPRしましょう。

伊豆の国市はチャンスを迎えています。映像業界が注目している今こそ、『江川邸』や『葦山反射炉』の歴史、『城山』や『狩野川』の豊かな自然、『温泉街』の情緒あふれる街並みを決して埋もれさせることなく、日本全国にPRしましょう。

## ラストシーン 映像のメッカ をめざして



ロケには、皆さんの力が必要です。その一つが『エキストラ』。エキストラとは、物語上重要ではない役に割り当てられる役者のことで、演技の経験がなくてもできます。基本的に出演は無償。しかし、群衆や町中シーンなどでは必要不可欠な役で、まさにエキストラなくしては映像作品は成り立ちません。

また事業者の皆さんには、『ロケ支援ネットワーク』への登録をお勧めします。宿泊業や飲食業、交通機関だけでなく、ロケセットをつくる建設会社や建設機械のレンタル会社、撮影に関わる資材・商品を調達するための卸売や小売業者など、あらゆる事業者の支援が必要です。もちろん料金や必要経費はロケ隊が支払います。皆さんもぜひ、『エキストラ』や『ロケ支援ネットワーク』へのご登録を。

問合せ 伊豆の国市商工会大仁支所  
電話 0558 76 3060

\*NHK土曜ドラマ『ひとがた流し』は、12月1日、8日、15日(NHK総合21:00~、全3回)に放送。ぜひご覧ください。

フィルム・コミッション伊豆  
問合せ 電話 0558 76 1630  
<http://www.fc-izu.net/region.htm>